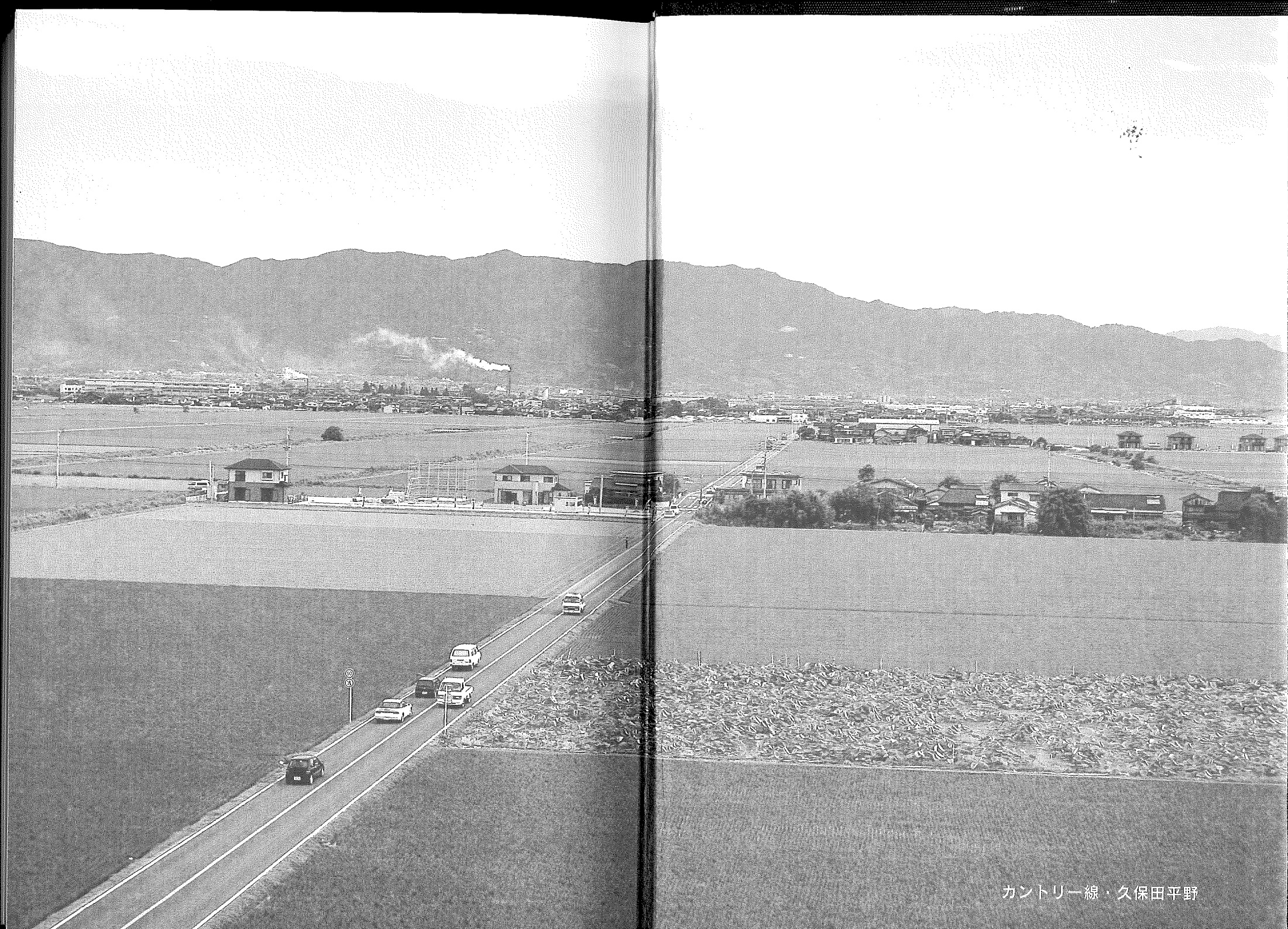


久保田町史

下卷

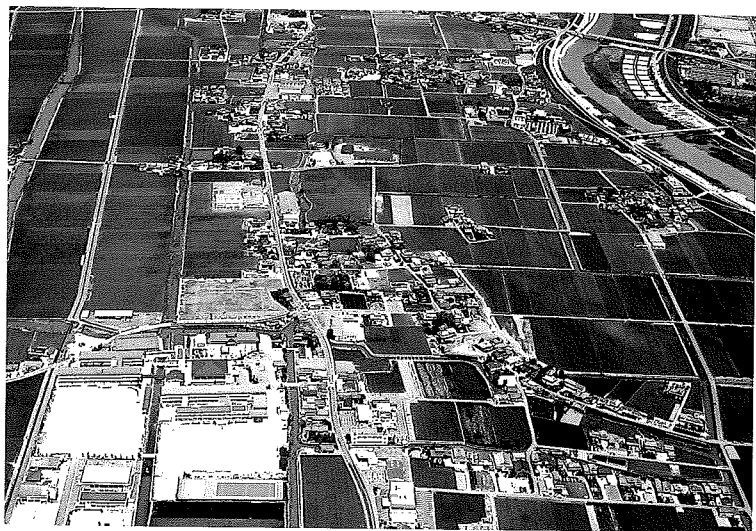
13史誌記
1
情報公開



カントリー線・久保田平野

久保田町史

下卷



空から見た新田周辺 (平成元年ごろ)



現在の役場 (平成14年ごろ)



歴代町長

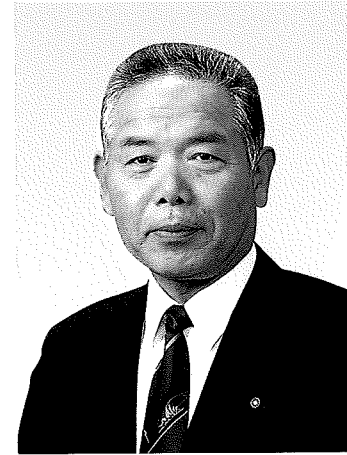
初代 村田 隆長  
昭和42年4月 (1ヶ月)



3代 森 賢一  
昭和58年5月～平成7年4月

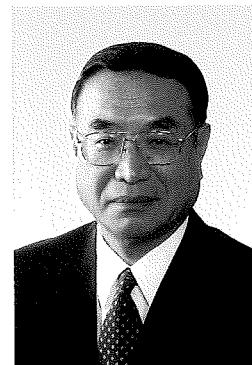


2代 古賀 了  
昭和42年5月～昭和58年4月

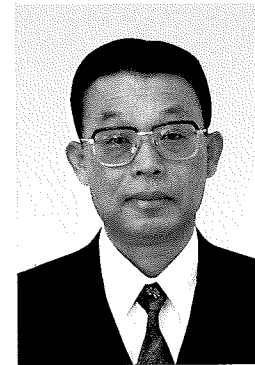


町の中  
枢

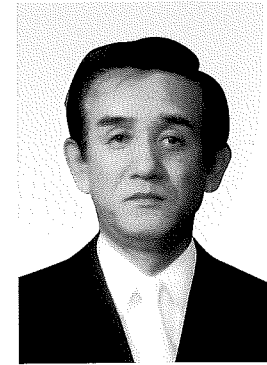
町長 川 副 綾 男



教育長 関 暁夫

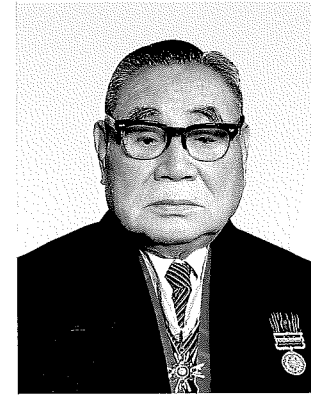


収入役 今泉 豊

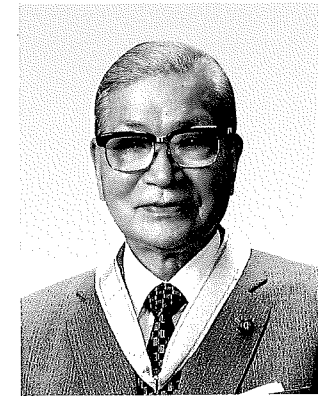


助役 古賀 善行

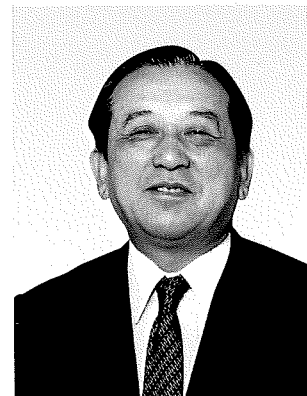
名誉町民



中尾都昭

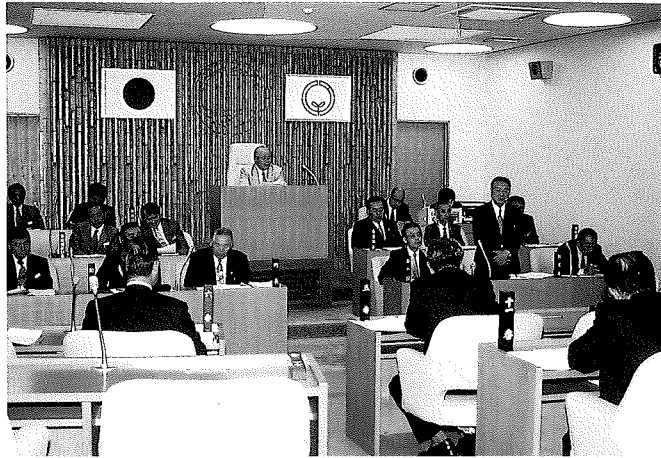


古賀了



土井定包

町議会



本会議風景 (平成13年)

全議員



鶴丸正士  
 高原義行  
 (副議長)  
 御厨俊幸  
 鶴丸時長  
 塚原盛男  
 (議長)  
 原田禎浩  
 西岡正博  
 蘭 和子  
 中野茂康  
 浜田 満



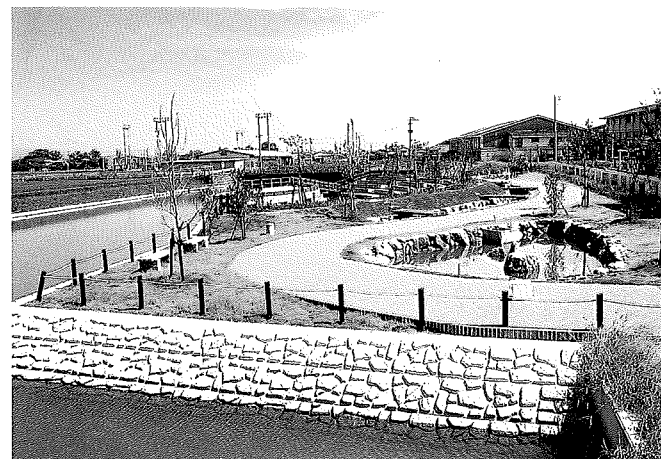
みどりの森県営球場 (平成11年3月完成)



嘉瀬川大堰 (平成3年3月完成)



久保田みどり橋 (平成13年2月完成)



ふれあいクリーク公園 (平成6年3月完成)

町のすがた



バルーン大会風景



整備された海岸堤防



カントリーエレベーター (昭和48年10月完成)



福所江漁港



保健センター (平成12年2月完成)



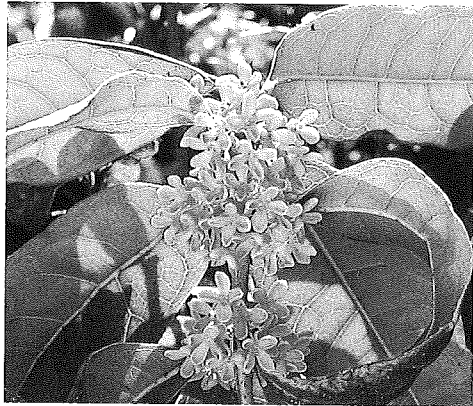
農村環境改善センター (昭和57年10月完成)



町民グラウンド (平成2年3月完成)



児童館 (平成5年5月完成)

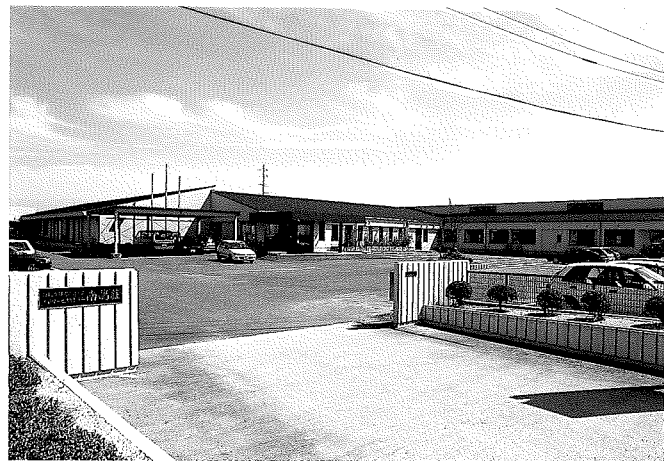


町花・町木「金木犀」(昭和61年1月制定)

中国原産の常緑樹で、枝が多く葉が密に茂り、大きくなれば樹高3メートル以上にもなる。仲秋のころ葉腋に赤黄色の小花が群れ咲き、甘い匂いは50メートル四方に及ぶ。久保田の土壤に適した花木で久保田町の未来像を象徴するものとして選定された。



現在の J R 久保田 駅



南 鷗 荘 (平成2年5月完成)

## 『久保田町史』の発刊を祝して

久保田町議会議長 原田 禎 浩

去る昭和四十六年に、明治百年を記念して『久保田町史』が出版されていますが、このたび、町制施行三五周年記念事業の一つとして四年にわたる編纂期間を経て装いも新たに上下二巻として刊行されることになりました。

これまで永い間ずっと続いてき、また未来に向って流れていくであろう時間の中でいろいろな時代を久保田町の先人達は体験してきたことでしょう。現在私達は新しい世紀を迎えて急速に変化していく情勢の中で多量な情報と多種多様な選択肢に向き合い、これからのより良い町づくりをあらゆる面で進めていく必要にせまられています。

かけがえのない本町発展のための施策をおこなっていくためには、私達各人は、永い時間の中で営々と築いてこられた郷土先人の業績を知り、足元の確かなところから英知を働かせることが大事だと思われま

す。この町史が多くの方に読まれることにより町発展の礎となり、明日への道標となることを望みます。

終わりにりましたが、ご多忙中のところ、長期間本書の執筆並びに編集に取り組んでいただいた諸先生方、委員の皆様および町内外より数々の資料提供、ご教示をいただきました皆様により感謝と敬意をささげ、発刊のお祝いのごことばといたします。

平成十四年三月三十一日

## 凡 例

- 一 本書は、上・下二巻に分けた『久保田町史』の下巻である。
- 一 下巻の内容は、ポツダム宣言受諾に始まる日本の太平洋戦争敗戦後の「現代」から記述され、「農業」「宗教」「民俗」の分野に及び、さらに久保田町の集落史である「ふるさと探訪」、懐かしい「思い出の記」などを載せた。
- 一 巻末には、昭和二十年（一九四五）以降の年表が付けられ、「編さん委員」「執筆委員」を紹介した。
- 一 項目の表示は、章・節・項の文字は用いず、単に「一・二・三」などに区分し、必要に応じて小見出しを付けることにした。
- 一 文章は、昭56・10・1内閣告示の「常用漢字表」に基づいて、平易な口語体で表現することにした。難しい固有名詞や特殊な文字には、なるべく「ふりがな」を付けるように努めた。
- 一 しかし、史（資）料引用の場合、原文のままの文字、字句を掲げた。
- 一 また、史（資）料引用の場合、『』、『』などでくくったが、引用する原文が長いときは改行のうえ、活字を二級小さくした。

- 一 人名には、原則として敬称を省略したが、生存者については「氏」をつけるようにしたが、統一を欠いていればお詫びしたい。
- 一 年号の表記では、日本年号を用い、その下に（ ）つきで西暦年数を併記した。
- 一 しかし、「年表」では、上段に西暦年数を出し、その下に日本年号を記した。（これは同じ西暦年内に日本年号に改元があるからである。）
- 一 数の表記では、年月日については日本漢数字を用い、他の場合は必要に応じて、万・億の単位を入れた。ただし、統計表については算用数字を用いた。

目次 (下巻)

現代

概説

一 行政のあゆみ

(一) 町政の機構

1 行政組織

2 村役場の変遷

3 市町村合併と久保田

4 久保田町制施行

5 久保田町名誉町民

6 行政機構

7 町三役

8 部落長

(二) 選挙と行財政

1 選挙

2 選挙管理委員会

3 議会の発足

4 町の財政

5 監査委員

6 税制の推移

(三) 総合計画

1 総合計画の推移

2 平成八年度総合計画

二 防災

(一) 災害状況

一  
三  
三

三〇

六

七  
七

七三

(二) 水防及び消防計画

1 水防計画

2 消防計画

七

(三) 非常備消防

(四) 常備消防

(五) 治安

1 防犯対策

2 駐在所沿革

九〇

八六

八四

三 交通・通信

(一) 交通の概況

(二) 鉄道

(三) 運輸

(四) 道路

(五) 橋梁

(六) 通信

四 保健衛生

(一) 健康管理と疾病予防

(二) 国民健康保険

(三) 保健関係団体

九五

九五

九六

九七

九八

九九

一〇二

一〇八

一〇八

一一三

一一四

(四)	環境衛生	二一七
(五)	佐賀西部広域水道企業団	二一〇
(六)	下水道の整備	二一三

## 五 福祉環境の向上

(一)	福祉行政	二一六
1	町の福祉対策	二一六
2	高齢化の現状と対策	二一六
3	介護保険	二一六
(二)	国民年金	二四四
(三)	社会福祉協議会	二四四
(四)	社会福祉関係団体	二四四
1	老人クラブ	二四四
2	遺族会	二四四
3	身体障害者福祉協議会	二四四
4	母子寡婦福祉連合会	二四四
5	手をつなぐ親の会	二四四
6	久保田町ボランティア連絡協議会	二四四
(五)	社会福祉施設	二五九
(六)	総合センター	二六三

## 六 治水・水利

(一)	河川防災	二六七
1	嘉瀬川ダム	二六七
2	嘉瀬川大堰	二六七
3	海岸保全	二六七

(二)	佐賀土地改良区	二七三
-----	---------	-----

(三)	農地防災	二七三
-----	------	-----

(四)	水辺公園	二七三
-----	------	-----

## 七 産業の振興

(一)	圃場整備	二八〇
(二)	農業団体のあゆみ	二八七
(三)	水産業	二九八
(四)	商工業	二〇一

## 八 教育・文化

### 概説

(一)	戦後の占領政策と民主教育	二〇六
(二)	教育委員会の発足	二〇六
(三)	教育委員会の基本施策	二〇六
(四)	学校教育	二〇九
(五)	幼児教育	二〇九
(六)	社会教育	二四三
1	公民館	二四三
2	人権・同和教育	二四三
3	社会教育関係団体	二四三

(七) 文化財保護

九 久保田町の人物

- 村田 若狭(政治家) 江口 六蔵(政治家) 蒲原 敬一(官吏・政治家) 大島 定吉(政治家)
- 本野 一郎(官吏) 石川 又八(政治家) 市川 潔(政治家) 御厨 栄(官吏)
- 下平 多作(政治家・獣医師) 高森 豊吉(政治家) 村田 隆長(政治家) 古賀 了(政治家)
- 深川嘉一郎(実業家) 堤 治之(実業家) 古賀文一郎(実業家・酒造業)
- 森山定太郎(実業家・銀行) 山崎時三郎(実業家) 鶴丸廣太郎(実業家・海運業)
- 原田 政雄(菓子製造業) 森永 良次(建設業) 堤 善六(製瓦業) 千々岩健六(鉄工業)
- 近藤 末(旧姓田中) (看護婦) 下平マサ(助産婦) 高柳 快堂(画家) 遠田階瞻(宗教家)
- 力久 辰齋(宗教家) 中島松二郎(社会教育者) 内田常吉郎(教育者) 原田千之(教育者)
- 志津田藤四郎(教育者) 井上 正喜(教育者) 石丸 正光(教育者)
- 本野 盛亨(新聞社社長・官吏) 中尾 都昭(新聞社社長) 千葉 胤明(歌人)
- 古賀 残星(文学者) 鍵山 栄(医師) 江口 保定(医師) 大坪虎三郎(医師)
- 鶴丸 廣長(医師) 原田 與吉(技能士・樽製造) 古賀 朋吉(技能士・石工)

十 久保田町の将来像

三四五

農業

一 明治期の久保田農業

三四九

(一) 明治初期の農業・農民の変容

三四九

(二) 明治期久保田農業の技術的特質と構造

三五九

1 独特周到な水田馬耕

2 「汲桶」と「踏車」による揚水灌漑

三五九

3 早・中・晩種の稲栽培の慣行

4 「かんばんようえ」の泥土揚

三五九

5 鯨油・松明・篝火の害虫駆除

三五九

二 大正期の久保田農業

三八三

(一) 五石懸賞会と農業の躍進

三八三

(二) 螟虫駆除対策の再編と強化

三九七

① 油さし ② 芯枯刈取鎌

③ 誘蛾燈

④ 稲株切断と掘取焼却

三九七

(三) 電力機械灌漑の実施

四〇九

(四) 晩稲一期作への移行

四五

三 昭和期久保田農業の変動

四〇〇

(一) 昭和前期の恐慌・佐賀段階・戦時体制

四〇〇

### 宗教

#### 一 仏教

- (一) 概要……………四六三
- (二) 久保田町の寺院……………四六四
- 集落別寺院一覧
- 1 龍洞山 大雲寺
- 2 元昌山 妙鎮寺
- 3 松寿山 桂秀院
- 4 共同山 寿慶寺
- 5 満岳山 龍顔寺
- 6 慈雲庵

#### 二 神社

- (一) 概要……………四八二
- (二) 久保田町の神社……………四八三

#### 三 その他の宗教

- 1 香椎神社
- 2 祇園社
- 3 若宮社
- 4 太郎次郎社
- 5 王子権現社(王子宮)と王子森稲荷社
- 6 中副の龍宮社(ひやいらんさん)
- 7 八の坪天神様
- 8 大立野の沖祇大明神
- 9 久富の御髪社
- 10 八大龍王祠
- 11 搦東の八幡社(三祠)
- 12 三丁樋の神々
- 13 森正一位稲荷さま
- 14 上新ヶ江の若宮社
- 15 下満の山王社
- 16 麦新ヶ江の八幡さん
- 17 下恒安の天満宮さん
- 18 大立野北の北之森お稲荷さん

# 民俗

## 概説

### 一 社会生活

#### (一) 集 落

- 1 集落の構成
- 2 共同作業
- 3 子ども組

#### 二 衣食住

#### (一) 衣と生活

- 1 仕事着と家庭着
- 2 晴着
- 3 子どもの服装
- 4 染色

#### (二) 食と生活

- 1 日常の食事
- 2 ハレの日の食事
- 3 ヒシ
- 4 食の俗信

#### (三) 住と生活

- 1 屋敷
- 2 水
- 3 火
- 4 あかり
- 5 台所の変化
- 6 共同風呂

## 三人の一生

- 1 誕生
- 2 結婚
- 3 葬送
- 4 年祝い・厄年

## 四年中行事

#### (一) 正月の行事

- 1 正月準備
- 2 大正月
- 3 七日正月
- 4 荒神さんの餅開き
- 5 御正忌
- 6 帳の鏡開き
- 7 小正月
- 8 大般若
- 9 裸ん行
- 10 二十日正月
- 11 年取り直し
- 12 百手

#### (二) 春の行事

- 1 節分・立春
- 2 初午
- 3 粉つき十五日
- 4 ひな祭り
- 5 彼岸
- 6 潮干狩り
- 7 お経参り
- 8 春祭り
- 9 堀干し
- 10 英彦山参り
- 11 川神祭り・ひやいらんさん祭り
- 12 男の節供
- 13 花祭り
- 14 ご誕生

#### (三) 夏の行事

- 1 田の神さん祭り
- 2 厄入り
- 3 さなぼり
- 4 六月朔日
- 5 沖の島参り
- 6 土用丑の日

- 7 祇園祭り
- 8 お念仏
- 9 豆祇園
- 10 四万六千日
- 11 七夕まつり

(四) 盆行事

(五) 秋から冬の行事

- 1 八朔
- 2 秋彼岸巡り
- 3 芋名月
- 4 堀干し
- 5 おくんち
- 6 お日待ち
- 7 お初穂
- 8 亥の日祭り
- 9 大黒さん祭り
- 10 師走の十三日
- 11 大祭り

五 民間信仰と俗信

(一) 民間信仰

- 1 講
- 2 仏教関係の信仰
- 3 名神大社の信仰
- 4 海に関わる神仏の信仰
- 5 家の神の信仰
- 6 経典に関する塔

(二) 俗信

- 1 禁忌
- 2 予兆
- 3 呪い
- 4 ことわざ

六 民謡・伝説・方言

(一) 民謡

- 1 労作歌
- 2 座敷歌
- 3 たんす長持ち歌
- 4 子守歌

(二) 伝説

(三) 方言

- 1 久保田のことば
- 2 語彙

七 子どもの遊びとわらべ歌

(一) 男児の遊び

- 1 トウバタあげ
- 2 コマ遊び
- 3 ネンポウ
- 4 ペチャ
- 5 サギヤーアシ
- 6 メジロ捕り
- 7 ドンガメ遊び

(二) 女兒の遊び

- 1 まりつき
- 2 羽根つき歌
- 3 人あて鬼遊び歌
- 4 指遊び歌
- 5 縄跳び
- 6 お手玉
- 7 観音講
- 8 自然の歌

(三) 動物の歌

- 1 きゃあつべさの歌
- 2 こつべらじよ
- 3 蛭とり
- 4 からす勘三郎

おわりに

ふるさと探訪・思い出の記

ふるさと探訪……………六六五

- |         |         |       |         |        |
|---------|---------|-------|---------|--------|
| 1 町東    | 2 町西    | 3 徳間  | 4 徳久    | 5 快万   |
| 6 小路①・② | 7 草木田   | 8 中副  | 9 麦新ヶ江  | 10 新田  |
| 11 大立野北 | 12 大立野東 | 13 福富 | 14 久富東  | 15 久富西 |
| 16 搦東   | 17 搦西   | 18 江戸 | 19 横江   | 20 金丸  |
| 21 永里   | 22 下新ヶ江 | 23 福島 | 24 上新ヶ江 | 25 福所  |
| 26 上恒安  | 27 久保田宿 | 28 下満 | 29 北田   | 30 桜木  |

思い出の記……………七五三

- |                             |                               |                               |                          |                        |                          |                         |
|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 焼夷弾で一瞬火の海……………久富東 塚原 マツ 七五三 | 農業協同組合火災の思い出……………北田 古賀 清吉 七五三 | 久保田の「農業改革」を想う……………中副 白浜 壽 七五七 | 役場勤めの思い出……………永里 森 四郎 七六〇 | 私の回顧録……………小路 大久保 實 七六二 | 久保田郷友会……………藤沢市 都世子良一 七六四 | ブラジルからの便り……………阿部 充子 七六六 |
|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------|-------------------------|

年 表……………七六八

- |              |                 |             |
|--------------|-----------------|-------------|
| 執筆者紹介……………七八 | 編さん事務局紹介……………八四 | あとがき……………八五 |
|--------------|-----------------|-------------|